【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2002-13508(P2002-13508A)
【公開日】平成14年1月18日(2002.1.18)
【出願番号】特願2000-198417(P2000-198417)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１５Ｂ　15/14
　Ｆ１６Ｊ　 1/08
【ＦＩ】
　Ｆ１５Ｂ　15/14　　３４５Ａ
　Ｆ１６Ｊ　 1/08

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月1日(2003.9.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項４】
前記シリンダチューブの内周面とピストンの外周面間に形成された嵌合すきまを０．００１乃至０．１ｍｍの範囲とした請求項１乃至３のいずれかに記載の往復動装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
ここで、シリンダチューブの内周面とピストンの外周面間に形成される嵌合すきまを０．００１乃至０．１ｍｍの範囲とすることによりエア洩れを殆ど無くすことができる。そのエア漏れを完全に防止するため、ピストンにパッキンをつけるのがよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
ピストン４は、ピストン本体１４と、その外周に嵌合され、かつ固着されたメタルリング１５とから成り、そのメタルリング１５の外周面とシリンダチューブ１の内周面間に形成された嵌合すきまδ_0の大きさは、０．００１ｍｍ乃至０．１ｍｍの範囲とされている。